

♥️ 要点まとめ（第36回_社会調査の基礎） ♥️

● 基幹統計と一般統計（問題 84） 国試ナビ（社 2023） P.349/（社 2024） P.355/（社 2025） P.363 📖 🌟

⇒ 基幹統計：国として、特に大事な統計 🌟 🌟

※報告を求められた人や法人には報告義務（拒否や虚偽の報告をしてはいけない）アリ 📖

国勢統計調査…5年毎。人及び世帯に対する全数調査。

国民経済計算（GDP 統計）…年に1回以上。

国民生活基礎調査…3年毎（中間年は小規模調査）。(保健、医療、福祉、年金、所得 etc…)

労働力調査…毎月。就労状況の調査（就労？不就労？失業？正規？非正規？etc…）

家計調査…毎月。個人消費の動向調査（みんな何にお金使ってるの？📖）

人口動態調査…毎年。出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数調査。

患者調査…3年毎。（医療機関の患者の傷病状況は？）



・一般統計：基幹統計以外

● 全数調査と標本調査（問題 86） 国試ナビ（社 2023） P.351/（社 2024） P.357/（社 2025） P.364 📖 🌟

⇒ 量的調査の超基本知識 📖 📖

・全数（悉皆）調査：全部（対象者全員）を調べる

・標本調査：一部を調べる…。え、どの一部を調査対象にする？

【“一部（＝標本※）”の取り出し方】

①確率標本抽出（無作為）…調査者の主観や意図ナシで選ぶ

②非確率標本抽出（有意）…調査者の主観や意図を反映させつつ選ぶ

※“全体”のことは「母集団」といいます📖

● 自計式と他計式（問題 87） 国試ナビ（社 2023） P.351～352/（社 2024） P.357～358 📖 🌟
/（社 2025） P.364・366 📖 🌟

⇒ 量的調査の超基本知識 📖 📖

・自計式：自分で書く 📖

留め置き調査…パーッと質問紙を配り、一定期間後に回収する

集合調査…対象者を一か所に集めて、そこで回答してもらう

郵送調査…質問紙を郵送し、返送してもらう

インターネット調査…ネット上の回答フォームに入力してもらう

・他計式：調査員が書く 📖

訪問面接…個別に訪問し、調査員が聞き取りながら回答を記入する

電話調査…電話をかけて、調査員が聞き取りながら回答を記入する

● 面接法（問題 89）

⇒ 質的調査の超基本知識 📖 📖

第26回「地域福祉の理論と方法」（問題 39）を要チェック 📖 🌟

●尺度水準（問題 88）国試ナビ（社 2023）P.350/（社 2024）P.356/（社 2025）P.365

⇒尺度とは、..、「集計する時に扱うデータ」だと理解すれば良いのでは…

	例		最頻値	中央値	平均値	比
名義尺度	学籍番号、性別、居住地域、所属学部	質的データ	○	×	×	×
順序尺度	満足度、順位、癌の病状（ステージ）		○	○	×	×
間隔尺度	西暦、温度、偏差値、ADL 評価 ※ゼロ≠無	量的データ	○	○	○	×
比例尺度	重さ、長さ、金額、時間、販売数 ※ゼロ=無		○	○	○	○

☞下の2つは「等間隔性が担保されている」のですが、その意味は…動画の 52 分頃～ ☞ キーワードは「駅伝」「区間賞」

●質的調査（問題 90）国試ナビ（社 2023）P.353~354/（社 2024）P.359~360
/（社 2025）P.369~370

⇒数字では表せない現象や物事の分析や解釈をしたい！という時に用いる調査手法

【よく出る調査方法】

- ・面接&インタビュー：調査したいことに合わせて、対象者の選定や面接の方法を変える
- ・参与観察：調査する人が、調査される集団に入り込み、内側から観察する。
- ・非参与観察：ビデオカメラやマジックミラーなどを使って、外側から観察する。
(☞実験室のような人工的な環境で行うことあり)
- ・アクションリサーチ：研究者と問題を解決したい人や集団が一緒に取り組み、問題解決を目指す

【得られるデータ】

- ・調査の様子を録画、録音したもの（ビデオ、写真、音声 etc…）
- ・調査対象者が記録したもの（日記、写真、ビデオ etc…）
- ・調査者のメモ（会話の内容、対象者の様子、調査者の主観 etc…）

☞But !

個人的な価値観が調査結果に大きな影響を与えない（中立的な立場で調査する）ための注意は必要

〔例〕

- ・観察内容は全体を網羅的にメモする
- ・データの抽出に主観はいれない

※データ収集の際には、オーバーラポール（対象者との信頼関係が深くなりすぎる）にならないこと
☞中立的な立場で、客観的な分析を行うことの邪魔になる…

【得られたデータの分析方法】

- ・グラウンデッド・セオリー（GTA）：①記録データ（文章）中の単語にラベルや数字のコードをつける
②①をカテゴリー毎に分ける
③カテゴリー間の関係性を明らかにする
④「これ以上整理出来ない」となるまで、①~③を繰り返す
- ・KJ法：①質的データ（名義尺度、順序尺度）をひとつずつカードに書く
②カードをグループ分けして、グループに名前を付ける
③グループ間の関係性を図解、文章化
※ どこにも分類できないカードは、それはそれとして独立させておくと
※ 複数人で一緒に取り組むことで、個々の意見を集約したり、新たなアイデアや解決策を創造したりすることができる…かも

グループワークでも同じような方法を使うことがあるよ☺